

第 14 回胚細胞呼吸測定装置研究会(厚生労働省医療機器開発推進研究事業 班会議)が平成 27 年 3 月 1 日 (日) 江陽グランドホテルで開催されました。パナソニックヘルスケア社より機器開発の進捗状況と機器の展示・説明があり、東北大学より 51 個のヒト余剰卵を用いた計 4 回の実験果報告と検討課題、本研究会の今後の方向性について報告がなされました。データの解析方法の工夫、胚のサイズや形状と測定値についての関連、測定値と形態学的クオリティ・生産率の相関性についての基礎的な検討の必要性など、活発なディスカッションが行われました。

3 月で今回の厚労科研のしめくりとなり、研究も大詰めですが、実用化に向けさらなる機器の改良と、データの蓄積が必要と考えられます。不妊で悩むカップルの福音となるよう、また 2018 年仙台で開催される日本産婦人科学会学術集会での機器発表を目指して、来年度以降も東北一丸となって研究を進めていきたいと思ひます。

